

6月定例会を 振り返って

会派の意見

新風クラブ

会派挙げての徹底調査で強力サポート、精鋭2議員が独自の視点で市政課題をたどす！

平田文彦議員は、高知県が創設した南海トラフ巨大地震対策となる老朽住宅除却事業の活用や空き家対策の早急な取り組み、観光振興、中央卸売市場、教育行政の課題について質問。

市長をはじめ執行部から、空き家条例は提言に基づき今年度中に策定し、老朽住宅除却事業は、地域における避難の実情等も参考に、来年度からの実施に向け、具体的に検討を進めるとの回答を引き出した。

水口晴雄議員は、財政再建、よさこい祭り、中心市街地活性化、新図書館の駐車場、観光客の宿泊対策などについて質問。市長は、財政再建は全体として達成したとの認識を示し、この秋には今後5年間の財政収支見通しを示すことを明言した。

また、耐震改修促進法の改正で、1981年以前に建てられたホテル、旅館など大型施設の耐震診断義務化に対しては、中嶋副市長から、業界の意見も聞きながら国の制度を活用するなど、最適な支援策を模索するとの答弁があった。

市民クラブ

岡崎市長も「基本的人権の削除は好ましくない」と答弁。

近藤強議員の国からの地方公務員給与削減要求についての質問に、「地方と何の相談もなしに一方的に決めることは納得できない。これまでの地方分権の流れを変えてはならないと考える」と答弁。旭地区のまちづくりは、減歩率を軽減すべきとの意見に、潮江や高知駅周辺と同程度の10%前後にしたいと答弁。

門田権四郎議員の質問に、「憲法は国家権力を制限して国民の権利自由を守ることを目的とした国家の基本法」との理解を示し、97条の基本的人権の規定削除は好ましくないと答弁。来年度からの定年退職職員は、原則希望者全員を再任用したい、また、土曜授業は条件が調えば地域連携型で検討したいと答弁。岡崎豊議員の国民健康保険制度の質問に、「市町村での国保運営は限界にきており、都道府県単位での制度化を目指すべき」と答弁。障害者優先調達推進法の成立を受け、市はこの秋を

めどに調達方針を決めたいと答弁。経済財政諮問会議の議論の行方を心配し、医療・年金・介護等はしっかりと守るべきと指摘。

新こうち未来

個人質問に戸田二郎議員、氏原嗣志議員、川村貞夫議員、浜口卓也議員が登壇。

戸田二郎議員は生活困窮者自立支援促進モデル事業について、平成27年に相談窓口の設置が義務化されるに当たり、目的のあいまいさ、設置した場合の職員の技能やビジョンについて質問。執行部からは明確な答弁はなく、不安な点も残りながらのスタートとなるであろう。

氏原嗣志議員は農業問題について質問。農地の集積、農業用施設の改善、担い手対策、耕作放棄地対策等、一体的、地域別に合致した農業農村総合施策の確立を求めた。

川村貞夫議員は中山間地域問題を取り上げ、移住促進への対応や、多様な生き物がすみ清流鏡川の保全、デマンドタクシーの本格運行について、それぞれの質問。

浜口卓也議員は全庁的な経済政策について具体策を質問。本市でも勧奨されている子宮頸がんワクチン予防接種の副反応の質問に対し、執行部から実際に副反応があった事実と、今後は厚生労働省の勧告により対応する旨を確認した。

日本共産党

市の財政は想定以上に改善。慰安婦発言撤回決議が採択！

はた愛議員は、財政再建プランの進捗状況を質問。市民負担増等により4年間でプラン想定を大きく超える約200億円の改善を認め、市民の切実な要望に応える財源はあることが明らかに。学校防災備品については、原則公費負担へ。下元ひろし議員は、生活保護法「改悪」で、申請を受理しない「水際作戦」が起ころのではないかと質問。書類が整っていないくても従来どおり取り扱い、新たに設置される困窮者支援窓口では、生活保護窓口との連携を行っていくと答弁。南海地震対策では、保育園や公共施設の早期耐震化を求めた。岡田やすし議員は、資源ごみについて、再生資源処理協同組合が売却しているが、収入額は市民に公開すべきと質問。事業の透明性を確保し、可能な限り情報開示していきたいと答弁。橋下大阪市長の「慰安婦」発言撤回を求める決議を提出し、賛成多数で可決となった。

公明党

高木妙議員は、本市の子育て環境整備についてただし、岡崎市長は、保育需要に対する明確な見解を述べられました。

また、南海トラフ巨大地震による長期浸水対策、高齢者住宅

の課題など多岐にわたって質問しました。

寺内憲資議員は、防災産業の育成と地産外商支援策として、市も県と同様に、地元企業の防災関連製品を購入する制度（公的調達制度）を創設すべきと訴え、岡崎市長から、平成25年7月からスタートさせる旨の答弁がありました。

高橋正志議員は、戦後から再造林されたスギ・ヒノキ等が現在伐採期に当たることから、今後の本市における森林・林業対策など多項目にわたり質問し、鏡・土佐山地域の「森の工場」からの搬出間伐の現状、森林環境に与える影響をたどしました。

みどりの会

近森議員の提案で始まる①日曜市の再生②災害時の情報整備③犬猫殺処分ゼロ④話せる英会話教育⑤誤った生徒指導の変更⑥SNS教育⑦正しい進路指導⑧景観の良い道作り⑨四電の値上げに反対⑩地方市場への移行⑪緑あふれる高知市へ大転換

